

● **学校法人 d b VERSION:7.205**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人 d b (VERSION:7.205) の変更点**”を参照してください。

📢 **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:7.205) の変更点

その他改良・修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①部門設定の「部門消費税区分を登録する」のチェックを外した場合、伝票入力形式で部門コード入力しても、部門設定の仕入区分の設定を反映しないように修正しました。
- ② [F8 仕訳検索] から検索項目を入力し検索結果の画面で、91 仕訳以上の仕訳を範囲指定し [F11 仕訳移動] を押すと不正終了していたのを修正しました。
- ③手順により「エラーが発生しました。エラーコード 0202 動作環境が不完全です。検索データテーブル位置エラー元 seq・・・ 修 seq・・・ (・・・は仕訳番号)」のエラーが表示される場合があったのを修正しました。
- ④出納帳入力で、リストの先頭に表示した入力済み仕訳が基本科目の先頭仕訳であった場合で、期首残高がある科目の場合は、1 行目に「前期より繰越」の行を表示するように改良しました。
※入力開始月を期中にしている場合は、「前月より繰越」と表示します。

科目		現金		仕訳表示		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決														
番号	日付	伝票	相手科目	摘要	変入金	変出金	税額	消費税	差引残高											
				※ 前期より繰越 ※					120,000											
*	1/01.01		売上高 1		20,000			1,818円 ¹⁰	140,000											
*	2/02.02		売上高 1		20,000			1,818円 ¹⁰	160,000											
*	3/03.03		売上高 1		20,000			1,818円 ¹⁰	180,000											

- ⑤科目属性を輸入仕入にして入力区分を外税固定とした場合、仕訳入力時に「別記」になっていたのを「外税」となるようにしました。

2) 残高問い合わせ

- ①比較の帳票を出力したときに、枝番の一部が重複されて表示される場合があったのを修正しました。

II. 出力

1) 比較・推移表

① 2期比較表

1-3 比較収支計算書において、決算修正月の発生金額だけを出力できる選択を設けました。

決修月に決算月の金額を含めて出力する

チェック ON… 決算月（12 か月目）と決修月（13 か月目）を合算して出力します。（初期）
チェック OFF… 決修月のみを出力します。

比較貸借対照表・比較収支計算書（2期比較）作成

詳細項目設定

帳表形式 自動

出力形式 貸借帳表 収支帳表

金額単位 円単位

行間隔 1行

科目名に科目コードを付加する
 分類項目に網掛出力をする
 科目欄を網掛出力する

カンマ表示
 当期を基準とした順で出力する
 資金調整科目の自動計算をする

余白に継続出力する
 コメント出力する

決修月に決算月の金額を含めて出力する

② 3期・5期比較表

比較収支計算書各タイプにおいて、「収支帳表：発生」選択時に決算修正月の発生金額だけを出力できる選択を設けました。

決修月に決算月の金額を含めて出力する （2期比較と同様）

比較貸借対照表・比較収支計算書（3期・5期）作成

詳細項目設定

帳表形式 自動

出力形式 貸借帳表 累計 収支帳表 発生

金額単位 円単位

行間隔 1行

科目名に科目コードを付加する
 分類項目に網掛出力をする
 科目欄を網掛出力する

カンマ表示
 当期を基準とした順で出力する
 比較対象を当期とする
 資金調整科目の自動計算をする

余白に継続出力する
 コメント出力する

決修月に決算月の金額を含めて出力する

③ 事業期間の開始日が1日以外で、かつ前期と当期で締日が異なる場合、期間貸借対照表、期間損益推移表の出力期を「前期」にすると金額が1ヶ月ずつずれて印字されていたのを修正しました。

④ 比較損益帳表で予算の配賦が行われていなかったのを修正しました。

2) 消費税額試算表

- ①枝番表示件数が 950 件以上の場合に「消費税マスターの読み込み中に障害が発生しました。」とメッセージが出て、業務が選択できなくなっていたのを修正しました。
- ②決算修正月一括税抜マスターで消費税額試算表の[F6 詳細設定]にて「枝番未入力残高を出力する」を選択すると、固定資産売却損の科目に枝番未入力の行が出ていたのを修正しました。

Ⅲ. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

- ①コピー開始時に転送先マスターの退避コピーを行い、エラーとなった場合に復元されるように対応しました。

以上